



777億円の補正予算可決

5月12日、岡山市議会は、777億円の補正予算を可決しました。あわせてコロナウイルス感染症対策について、調査特別委員会を立ち上げました。

5月15日には、岡山市コロナウイルス感染症対策本部会議を開き、21日からの学校の再開や夏休み短縮、児童クラブや保育園等の登園自粛解除を決定しました。

補正予算の内訳

- ①感染拡大防止に8億円。
- ②岡山市独自の中小企業等の事業維持支援として売上げが20%以下に減少している、中小企業者に20万円、小規模事業者に10万円を支給などに25億円。(申請期間R2.5.1～11.30)
- ③1人一律10万円給付などに744億円となっています。

インターネット環境のない家庭が約2900世帯

家庭学習のためのICTソフト導入費2200万円

教育委員会では、家庭学習のためのICTソフト導入費2200万円の予算がありました。現在、不登校児童のために使用している学習ソフトを小中学校の児童生徒が使えるようにしようとするものです。事前の調査では、インターネット環境のない家庭が約2900世帯いることがわかっています。「子どもの家庭環境により、学習の進む子、遅れる子が発生する、この格差をどのように是正するのか」と質問すると、「プリント学習の補充と考えている。IDとパスワードから、使用していない子どもが学校のパソコンでわかるので、電話等で指導したい」との答弁で、学校が始まってから授業で指導すると教育委員会は考えているようです。

学校休業による学校給食の問題

3月時点で尋ねたところ、民間委託の学校給食は年間10%以上減ったら「協議する」という契約になっているので、2019年度は協議の対象となりませんでした。

今回補正予算で出てきたのは、岡山県学校給食会に支払う違約金約3200万円です。

「ご飯を炊くこと、配送することなどに対するもの」との答弁でした。これは3月分の違約金であり、4月分5月分もいずれ請求されると思われます。

学校給食は、学校の休業、再開と密接に絡みます。今年度の夏休みは8月1日から25日になりました。この夏休みの短縮に伴う7月の給食の実施については、「検討中」とされ、8月の給食は実施しないとされています。この理由は、学校給食の民間委託にあります。民間委託は契約によっていますので、直営の学校では給食が提供できても、民間委託校は臨機応変な対応ができないのでしょうか。

学校給食でお弁当提供

学校給食がないため、お昼ご飯が食べられないという子どもたちが心配です。コロナの影響で子ども食堂という形式には無理があります。給食費を返還してくれるよりも、学校給食をお弁当として提供してほしいという声もお聞きします。世田谷区では学校休校中にお弁当を配達しました。今後の課題として、取り組んでいきたいと思えます。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼ 6月8日(月)～24日(水) 6月定例市議会
下市このみ個人質問日は、決まり次第、下市このみホームページなどでお知らせします。
- ▼ 「ひまわりマーケット」中止
6月に予定していました新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたします。